



21世紀の日本を担う、グローバル

編集の基本方針

経済・文化の交流がグローバルに進む世界において、わが国では、国内の諸課題を解決し、さらには世界の平和と発展に貢献し得る人材の育成が求められています。一方、中学生に関わって、学力や学習意欲の低下、現実社会からの逃避傾向などが指摘されています。こうした状況の中で、社会科教科書には、生徒たちが、今日を生き抜き、わが国と世界の未来を切り拓く市民として成長できるように支援することが求められています。そこで、教科書の編集にあたっては、社会の変化に対応し、多面的・多角的に考えて課題を解決し、表現する能力を培うことをめざし、次のような基本方針を立てました。

①課題追究的な構成

生徒の目の高さにあわせた、課題追究的な学習内容の構成

②基礎・基本の定着

生徒の知識獲得の意欲に応えながら、基礎・基本の定着を図れる学習内容の厳選

③グローバルな視野の育成

身の回りの事象から、より広い視野への興味・関心を育てるための教材の配置

④自己学習力の深化

生涯学び続ける力の基礎となる自己学習力を深める、学習方法への対応

⑤今日的な課題への対応

今日的な課題へのとり組みと、未来への展望を切り拓く意欲を喚起させる課題設定

五つの「キョウ育力」に重点をおいた、内容・教材の工夫



興育力: 学力低下への処方箋として、学習に対する興味・関心を高めます。

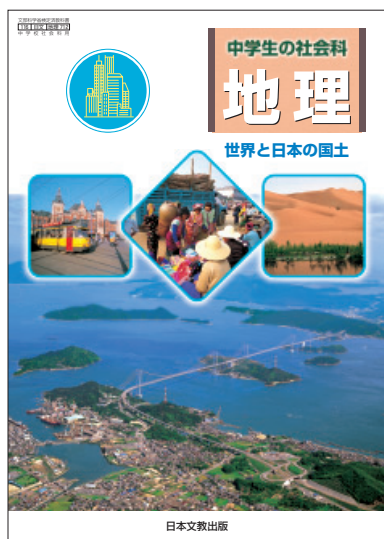
共育力: 教師と生徒たちが共に学習することによる学習効果を高めます。

今日育力: 生徒たちが今日を生き抜き、将来を考える力を高めます。

郷育力: 地域の学習を丁寧にとり上げることにより、郷土を愛する心を高めます。

驚育力: 新しいことを知る驚き、自らが発見するよろこびを伝えます。

な視野をもった市民を育てる教科書です。



地理「しまなみ海道」ほか／歴史「日本橋のにぎわい(『江戸図屏風』より)」ほか／公民「東証アローズ」ほか

表紙のテーマは、「交流」です。

人とモノと情報が、ダイナミックに行き交い、新しい価値が創造されている場をとり上げました。さまざまな要素の関わり合いを理解することから始まる社会科学学習を、まずイメージとしてとらえます。

年間指導計画を立てやすい、各分野7章での構成

使いやすい「章一節」の構成です。

学習指導要領の項目数に合わせて、教科書を構成しています。そのため、年間の学習指導計画が立てやすくなっています。※各分野の単元構成および時間配当は、この冊子のP34～39をご覧ください。

地理的分野

- 第1章 世界の地域構成
- 第2章 日本の地域構成
- 第3章 身近な地域調べ
- 第4章 都道府県調べ
- 第5章 世界の国々調べ
- 第6章 さまざまな日本の特色
- 第7章 関連づけて見た日本

歴史的分野

- 第1章 文明のおこりと日本列島
- 第2章 武家政治の成立と展開
- 第3章 近世の日本
- 第4章 近代の日本と世界
- 第5章 近代日本と国際関係
- 第6章 激動する世界と日本
- 第7章 現代の世界と日本

公民的分野

- 第1章 現代日本の歩みとわたしたち
- 第2章 わたしたちの社会生活
- 第3章 人間の尊重と日本国憲法
- 第4章 民主政治と政治参加
- 第5章 わたしたちの暮らしと経済
- 第6章 国民生活と福祉
- 第7章 かけがえのない地球と人類の共生